



CHECK-1

## 色々なタイプのヘルメットで1つのインターコムを共有できる

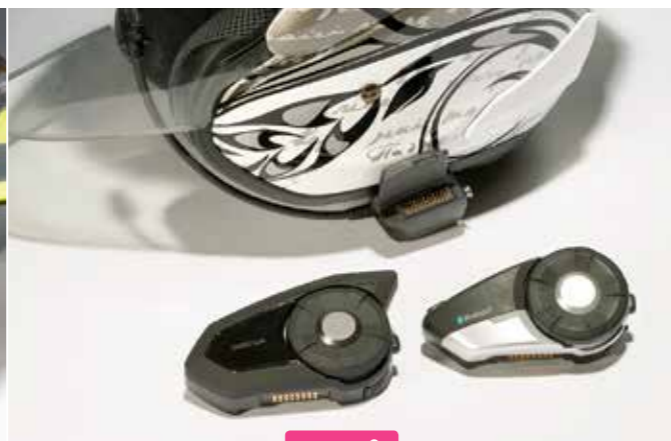
夏はジェット、冬はフルフェイス、またイベント用の特別ヘルメットなどその場に応じてヘルメットを使い分けられている人も多いが、その都度ヘルメットにインターコムシステムを付け替えるのはしんどい。持っているヘルメットすべてにクランプキットだけを購入して取り付ければ、メインユニットを装着するだけで、インターコムを自由に使い回せる。クランプキットにはブームマイク、外付けブームマイク、ケーブルマイクの3種類のマイクが同梱されており、どんなタイプのヘルメットであっても、ぴったりのマイクを選択することができる。また、イヤホンジャックを使えば、同梱されているスピーカーではない、他のスピーカーを使うことも可能であり、まさに自分好みのカスタマイズを楽しめる



CHECK-3

## クイックリリースボタンで安心ツーリング

クイックリリースボタンを1回押すだけで外すことが可能。休憩のときにヘルメットからメインユニットだけを取り外しておけるので安心だ。また、メインユニットをクランプユニットに装着するときは「カチッ」としっかり固定されるため、走行中にメインユニットが落下してしまうといった恐れがない



CHECK-2

## 30Kと20Sの両方を1つのクランプユニットで共有できる

30Kと20Sのクランプユニットは全く同じ仕様のため互換性がある。不特定多数のライダーが集まるイベントや大勢で集まるマストツーリングなら「セナ・メッシュ・インターコム」が使える30Kを選べる。また、気心の知れた仲間となら20Sと、繋がる状況に合わせてインターコムを使い分けよう

OTHER ITEM

## ユニバーサルヘルメットクランプキット (スリムスピーカーモデル)

価格：1万2528円  
対応機種：20S、30K

30Kと20Sの両方に使えるクランプキット。ホルダー支持のブーム、好きな場所に取り付けるブーム、ワイヤータイプの3種類のマイクを同梱。スピーカーは通常と薄型の2タイプを用意

SETTING



## スピーカーやマイクの調整もしてみよう!

オプションとして販売されているユニバーサルヘルメットクランプキットには、スピーカーが直径40mmのもの、直径31.9mm×厚み4.4mmというスリムモデルが用意されている。ヘルメットの内装に応じて最適なスピーカーを選ぶことができる

注意!

ヘルメットからクランプユニットが少し飛び出る形状のため、置くときはアンビエントボタン周りに傷が付かないよう丁寧に置こう。雨天の使用後、必ず湿気を拭き取る。特に端子部分に湿気があるまま保管すると、端子の腐食原因となり不具合が発生することもある

ヘルメットに取り付けるためだけじゃない

# クランプユニットを活用しよう!

SENAインターコムをヘルメットに取り付けるためのアダプター部分のことを「クランプユニット」と呼ぶ。セナのフラッグシップ「30K」と高性能モデル「20S」は、このクランプユニットを共通化。ヘルメットのタイプやツーリングの目的に合わせて、インターコムを自由自在に使い分けできる

イラスト/田中斉 写真/宮田幸司 文/八百山ゆーすけ  
問:セナブルトゥースジャパン <http://senablueetooth.jp/>



ITEM

## SENA 20S

価格：3万6072円 (シングル)  
6万9984円 (デュアル)  
最大通話可能人数：8人 (Bluetoothインターコム)  
最大通信距離：2km (Bluetoothインターコム)  
連続通話時間：13時間 (Bluetoothインターコム)

ブルートゥースチップを2つ搭載し、音楽を聞きながらインターコム通話ができる。グループインターコム機能などを使って、最大8人での同時通話が可能。NFCをはじめ多彩な機能を凝縮したモデルだ



ITEM

## SENA 30K

価格：4万2552円 (シングル) 8万1864円 (デュアル)  
最大通話可能人数：無制限 (メッシュインターコム※公開モード) 4人 (Bluetoothインターコム)  
最大通信距離：2km (メッシュインターコム) 2km (Bluetoothインターコム)  
連続通話時間：8時間 (メッシュインターコム) 13時間 (Bluetoothインターコム)

次世代のインターコム通話「セナ・メッシュ・インターコム」技術を搭載したフラッグシップモデル。公開モードなら人数無制限、プライベートモードなら最大16人とインターコム会話ができる。音楽を聞きながらメッシュインターコム通話ができる

クランプユニットが複数あれば活用できる

インターコムのクランプユニットは、モデルが違えばクランプユニットも違うというのが常識。しかし、セナの場合、フラッグシップの30Kと高性能モデルの20Sのクランプユニットを共通化。互換性があるので、お互いを入れ替えて取り付けることができる。例えば30Kと20Sを両方持っている場合、その都度マイクやスピーカーを付け替える必要がない。また、ヘルメットが複数ある場合に、クランプユニットを各ヘルメットに取り付けておけば、ツーリングの内容に合わせて、ヘルメットと、30K、20Sというインターコムの最適な組み合わせをチョイスすることができる。30K、20Sの両方で使えるこのクランプユニットには、共通で使用可能な「ユニバーサルヘルメットクランプキット」というアクセサリも用意されている。3種類のマイクが同梱されているため、さまざまなヘルメットに装着できる。さらに、スピーカーのサイズが違う2タイプを用意。30K、20Sというキャラクターの違うインターコムに合わせて、目的やヘルメットに最適なシステムを使い分けることができる。